

病院整備計画の公募審査に関する質問票

- 黄色着色セルに入力してください。
※「担当者名」「メールアドレス」、「回答」行に入力してください。
- 今回頂いた回答は委員に提供し、後日会議HPに掲載します。
※担当者名とメールアドレスは非公表です。

保健医療圏	東部
応募医療機関名	(仮)獨友病院
担当者名	
メールアドレス	

	委員名	応募医療機関名	質問	回答
1	西村委員	(仮)獨友病院	地域内で顔の見える連携が求められる中で、管理者であり診療の中心を担う院長予定者の経歴・専門領域をお示し頂けないか？	現時点では、院長予定者は確定していません。確定次第、地域内で顔の見える連携を推進すべく、ご挨拶させていただきます。
2	西村委員	(仮)獨友病院	仮称「獨友病院」の名称は、獨協医科大学を有す獨協学園ならびに同学園同窓生、獨協医科大学埼玉医療センターと連携関係にある周辺医療機関や介護事業所等の誤解を招き、今後、連携の妨げになる可能性があると考えます。名称について、ご理解ご配慮いただけるか？	病院名称につきましては、誤解を招くのご指摘を頂きましたので、病床配分決定後、対応させていただきます。予定では、「タムス越谷病院」を想定しております。
3	西村委員	(仮)獨友病院	獨協医科大学埼玉医療センター等と連携して、回復期入院機能が貴院の役割と認識したが、外来や健診についてはなしでよろしいか？	健診については想定しておりません。外来については、退院患者やご紹介元医療機関よりご要望がございましたら、退院後のフォローアップ外来や、外来リハを行う事を想定しています。既にかかりつけ医のある地域の方を積極的に診療する一般外来は想定していません。
4	西村委員	(仮)獨友病院	貴グループは周辺に多くのクリニックを幅広く展開しているが、そのようなことはないと考えてよいか？地域の機能分担に理解いただいているか？	グループには多様なサービスを提供していますが、近傍にクリニックを出す予定はありません。
5	西村委員	(仮)獨友病院	回復期リハビリテーション病床を180床としているが、予定受入患者の疾患構成として、脳血管疾患・整形外科疾患・心疾患・廃用症候群それぞれの比率をどのように想定しているのか？	グループ実績から、リハを主軸としている病院の過去実績値は、脳血管56～58%、運動器22～28%、廃用14～21%となっています。疾患別リハの構成割合は季節により変動しますが、この範囲内で推移するものと予想しています。
6	西村委員	(仮)獨友病院	看護師、介護福祉士など人材確保が困難な状況下で、セラピストも100名と新規で多数の人材確保を必要としているが、近隣医療機関への影響はどのように考えているのか？	調整会議時にもご説明しましたように、周辺医療機関への影響を与えないよう、新卒採用を中心に実施したいと考えています。新卒採用については、グループ内の新卒採用専門の部門があり、新卒採用を積極的に推進し、既存病院に配置、育成していきます。2021年卒180名、2022年卒210名の実績があり、予定人員の採用が可能と考えます。手法としては、例年、10社程度のナビサイトや自社媒体(ホームページ、インスタグラム等)での募集、年間150件を超える合同説明会に参加しています。そこで、約4,000名の母集団を形成し、その中から会社説明会、選考試験、面接を経て、毎年200名前後を採用しています。母集団形成の為、年間400校近くの大学、短大、専門学校を訪問し、関係性を強化、維持し、学内説明会を獲得し、学内説明会を実施しています。中途職員については、グループ内の中途採用専門部門により行われ、2021年度は1,063名(内、看護211、リハ67、介護289)、2022年度(4～10月実績)803名(内、看護191、リハ68、介護197)の実績があり、十分対応可能と考えています。手法としては、自社採用ホームページ、web広告(indeed他)、有料媒体(web、フリーペーパー等)、SNS広告(LINE他)、人材紹介、ポスター掲示等の手段を用いています。今回は、直下のエリアではなく、通勤可能な沿線エリアにて募集を行います。タムスグループは採用を非常に重視しており、本件についても上記の様な手法を用い、グループ丸となって採用にあたります。
7	内藤委員	(仮)獨友病院	この度の埼玉県東部地域の公募病床配分数は819床のところ応募は977床となっており、すでに158床の過多になっています。今回越谷地域だけで新規・移転・増床等を含め60%を超える計623床の届け出がありました。すべて獨協医大埼玉医療センターを中心に東西北配置されていますが、仮に希望通り増床できたら、それに伴う看護師等職員の確保はかなりの難しものになります。当然近隣の医療機関の影響は計り知れません。患者の取り合いになるかもしれません。多くの新規・増床計画がだされたことで、医療従事者の採用計画、患者数、病床数などについて、再検討されるのでしょうか。	埼玉県東部地域の公募病床配分数は819床と、非常に多くの病床が配分されることから、ご懸念されている状況は十分理解できます。この地域に新規に配分されたにもかかわらず、地域内の医療従事者を採用することは、実質的に医療人材を増やすことにはならず医療人材の再配分となり、地域の医療の質の向上は図れません。採用に関するタムスグループの手法と実績につきましては、質問6の回答に記しましたように、新卒を中心に、様々な手法を用い採用活動を展開する予定です。人材は近隣にご迷惑をかけずに確保していきたいと考えています。配分結果を踏まえ、必要数変動する場合、採用計画の修正等の可能性があります。現時点では、病床数や患者数については、現状の計画を推進する予定です。
8	内藤委員	(仮)獨友病院	東部地域において獨協埼玉医療センターは最大の医療機関であり、地域の住民も基幹病院として重要な役割果たしていることを認識しています。また地域の医療機関も密接な関係が必要としています。獨友病院の名前は、第3者から見れば大学病院の関連病院と考えてしまっていますが、卒業生でもなく、医療センターに長く勤務した人でもない医師(法人)がこの名称を付けるのはいかがなものか、また草加市には埼玉草加病院があり「友」が重なっています。仮称の段階ですが、病院名の決定には「獨協・友」の冠を外すなどのご配慮をお願いしたい。	病院名称につきましては、誤解を招くのご指摘を頂きましたので、病床配分が決定後、対応させていただきます。予定では、「タムス越谷病院」を想定しております。
9	宗廣委員	(仮)獨友病院	当院の退院支援看護師に聞くと、回復期リハビリ病院への転院はスムーズにいくとのことですが、今回のプレゼンテーションで、回復期リハの申請が複数の施設から上がっているのを聞いて、自施設での申請数はそのままの数が必要だと考えていますか。	高度急性期、急性期病床数から転院により、自施設の申請数でも十分に埋まると考えています。また、高度急性期や急性期病院における転院待機の状態、これらの病院の偏在、今後多くなることが予想される認知症高齢者への対応を鑑みると、計画の様な病院整備の必要性は高いと考えます。県の指示により、計画の実施の下限については申告しております。
10	平井委員	(仮)獨友病院	医師の確保が紹介会社とのことですが非常に不確実かつ不安定と思われれますが	グループには、医師採用の専門部門があり、紹介会社からの紹介を待つだけではなく、紹介会社向け法人説明会の開催、紹介会社への逆営業、紹介会社職員向け勉強会、紹介会社向け病院説明会、紹介会社への雑誌広告、紹介会社とのWebミーティングなどの施策を実施しています。また、ホームページの充実、インスタグラムによる紹介、医師紹介キャンペーン、非常勤医師から常勤医師へ勧誘、職員からの紹介、大学病院医局回り、大学病院医局外の医師チームへのアプローチを実施しております。これ以外の施策についても計画実施し、開設まで確実に医師を配置するよういたします。
11	平井委員	(仮)獨友病院	理学療法士・言語聴覚士・作業療法士の確保は如何でしょうか	新卒、中途採用の方法、実績については、質問6の回答に記した様に様々な手法を用い採用を展開していきます。特に、セラピストの採用については、既存の病院での受入など、計画的に採用を行い、グループ病院にて研修を行い、人員を確保していきます。4病院で回リハ1の施設基準を算定しています。研修する場所としては、非常に良い環境を提供することが可能です。様々なアピールをして応募につなげていきたいと考えます。
12	平井委員	(仮)獨友病院	全体で819床増床の中で看護師の確保は如何お考えですか	819床全体の看護師の確保について、当方が意見を申し上げる立場にはありません。ご容赦ください。本計画における看護師確保については、質問6の回答に示したように、当グループは非常に力を入れております。毎年、新規の事業所を複数開設しております。新規事業に必要な人員を不足することなく確保し、毎年、問題なく開設に至っております。直近の病院実績としては、3年前にタムス浦安(199床)の新病院の開設とタムス市川リハビリテーション病院(100床)を同時に開設いたしました。実績はあるものの、今回の病院整備計画のハードルが決して低いわけではないので、油断することなく対応したいと考えます。

13	原直委員	(仮)獨友病院	地域包括ケア病床60について:地域包括ケア病床を持つということはサブアキュート(誤嚥性肺炎や骨折等)診るという理解でありますが、二次救急や夜間および休日の救急を受けたいだけという理解でよろしいか。救急に対する計画を教えてください	病院整備計画に地域包括ケアを設置する計画となっています。地ケアの役割である、サブアキュート、ポストアキュートの受け入れを積極的に行う予定です。一方で、急性期病院の様に、医療設備(オペ室や高度医療機器)が十分配置された病院ではありませんので、患者受入は限定的となります。対応できることは、断らずに対応します。誤嚥性肺炎は対応可能と考えます。骨折等については、急性期病院で治療を行った後、転院することは可能と考えます。
14	原直委員	(仮)獨友病院	回復期リハビリ病床180について:県の定量分析ベースでは東部地域の必要数は1579床ではなく75床となっている。また、現在、対人口10万人当たり81.5床と突出した病床を持っている地域であるにもかかわらず、当該病床を大きく増床申請する理由を教えてください	病院機能報告と県の定量分析ベースの結果について、東部の回復期は大きく異なる結果が示されています。定量分析ベースでは75床の不足とされ、対人口10万人あたり81.5床と高い数字を示していることは認識しています。しかしながら、急性期病院からのヒアリング、調整会議における他の法人様からのご提案をお伺いすると、多数の入院待機者がいること、急性期病院からの転院に苦慮しているという話が多くありました。また、東部医療圏は南北に長く、同一医療圏でも病床が偏在していると考えています。また、将来、高齢化が進み、認知症高齢者を含む高齢者に対応するためには、一定数の病床整備が必要であると考えます。埼玉県東部エリアは、高度急性期や急性期病院が集中していること、街が整備され、東京などのベットタウンとなっていることなど、埼玉県の他の圏域とは様相が異なることから、定量分析ベースや10万人当たりの数字では見えない需要があると考えます。
15	原直委員	(仮)獨友病院	回復期リハビリ病床180について:人材の件。大きく増床することとは理学療法士を多く迎える必要があります。現時点でもこのエリアでは多くの理学療法士が活躍中であり、人材雇用のことも含め、地域医療のバランスを崩す可能性を危惧しますが既存医療機関からの人材流出の無いような採用計画となっておりますか	地域の人材を採用に注力しては、地域の医療の質の向上にはつながりません。質問6の回答にも記したように、地域の既存医療機関に影響を与えることなく人材を確保すべく、計画的に新卒の採用を中心にすすめたいと考えています。
16	原直委員	(仮)獨友病院	医療従事者の採用計画について:地域に迷惑をかけずとの計画をうたわれているが、それを目指しながらうまく行くのでしょうか。これまでも越谷市内でも人材不足が続いています。その状況下において、既存医療機関の不安を脅かすことなく240床分の職員確保は困難を極めませんか。既存医療機関からの看護師・職員の応募に関しては採用を見合わせるという考えで理解してよろしいか。	入院や退院、地域の社会資源の利用など、地域連携は非常に重要であることは言うまでもありません。地域で受け入れられる医療機関となることが重要と考えます。そのため、職員採用については、地域の医療機関にご迷惑をかけないようにすることは、繰り返し申し上げているところです。また、当グループの採用実績から、既存医療機関を脅かすことなく240床分の職員確保は十分可能と考えています。
17	原繁委員	(仮)獨友病院	9人の医師の確保は可能ですか	グループには、医師採用の専門部門があり、医師確保については、紹介会社からの紹介を待つだけでなく、紹介会社向け法人説明会の開催、紹介会社への逆営業、紹介会社職員向け勉強会、紹介会社向け病院説明会、紹介会社への雑誌広告、紹介会社とのWebミーティング等を実施しています。また、ホームページの充実、インスタグラムによる紹介、医師紹介キャンペーン、非常勤医師から常勤医へ勧誘、職員からの紹介、大学病院医局回り、大学病院医局外の医師チームへのアプローチ等も実施しております。これ以外の施策についても計画実施し、開設まで確実に医師を配置できるようにいたします。グループの採用実績や、新規病院の開設実績を鑑みると、開設までに確保することは可能と考えています。
18	岡村委員	(仮)獨友病院	各技術職の新規採用の具体的策はありますか。	新卒採用については、グループ内の新卒採用専門の部門があり、これまでと同様に、新卒採用を積極的に推進し、既存病院に配置、育成して行きます。2021年卒180名、2022年卒210名の実績があり、採用が可能と考えます。手法としては、例年、10社程度のナビサイトや自社媒体(ホームページ、インスタグラム等)で募集を行い、年間150件を超える合同説明会に参加しています。そこで、約4000名の母集団を形成し、その中から会社説明会、選考試験、面接を経て、毎年200名前後を採用しています。母集団形成のため、年間400校近くの大学、短大、専門学校を訪問し、関係性を強化・維持し、学内説明会を獲得し、学内説明会を実施しています。今回の計画についても、同様の手法を用いると共に、新たな手法についても計画し、実践したいと考えています。
19	田中委員	(仮)獨友病院	病院の新設にあたり、医療従事者の確保予定人員は、医療法上の人員配置標準を満たしていますか?	療養180床、一般床60床、外来(想定70名で計算)しました。医療法上の人員配置基準を満たしていることを確認しております。